

令和7年6月20日
文教・福祉常任委員会資料
健康長寿部長寿生きがい課

令和6年度宇治市小倉デイホームの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、別紙のとおり報告いたします。

令和6年度 事業報告書

令和7年5月20日

施設名	宇治市小倉デイホーム
団体名	社会福祉法人 宇治明星園
代表者名	理事長 中島研
指定管理期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日（5年間）

（1）業務実施状況報告（令和6年度）

【管理運営に関する基本方針と結果について】

- ・「地域に開かれた、地域に根ざした、地域住民に支えられた施設づくり」（宇治明星園設立理念）を宇治市小倉デイホームの運営方針とします。
- ・地域住民の方が幅広く利用することができる環境づくりに取り組みます。また、子ども茶道教室、地域住民による健康麻雀クラブ、囲碁クラブ、認知症の方と家族のつどいの場、地域貢献事業（委託事業含む）のフレイル予防教室（小倉げんき塾、脳トレ教室たんぼぼ、小倉うたごえサロン）、趣味クラブ活動（陶芸、書道、健康麻雀クラブ、絵手紙）、小倉小学校や小倉双葉園保育所との世代間交流は継続して管理運営を行い、健康増進に資する活動及び生きがいくりを支援します。

—結果—

令和6年度の1年間でデイルーム2,894人（4.1%増）、家族介護者教室3,472人（12.2%増）、ボランティアルーム1,846人（5.3%増）の利用があった。感染症対策は緩和となっているが、感染対策をとりつつ小倉小学校青少年健全育成協議会活動の子ども茶道教室、地域貢献事業（委託事業含む）の介護予防教室、クラブ活動を継続して行い、地域住民の健康増進の向上に繋げた。

【施設の平等利用の考え方と実施した対策について】

宇治市在住の60歳以上の方であればどなたでも平等に利用していただき、地域に開かれた施設として運営します。また、それ以外の介護者教室、ボランティアルームなども年齢に関わらず、地域のサークル活動やサロン、民生・児童委員協議会、学区福祉委員会、小倉小学校や小倉双葉園保育所などにも幅広く開放します。その他、障害者福祉施設の利用者の就労の場（地域交流の場）としても活用します。

—実施した対策—

高齢者福祉施設として、宇治市広報の掲示や地域のお知らせを配布するなど情報発信を行い、また地域のイベントや施設主催の行事（介護予防教室・クラブ活動や、小倉明星園とともに地域の福祉をよくする会の開催、デイホーム委員会主催）なども地域や関係団体に幅広く広報して利用しやすい環境づくりに努めた。

【利用拡大の取組結果について】

利用拡大の取組として、地域住民の健康増進として地域貢献事業（委託事業を含む介護予防教室）を開催。介護予防教室の利用延べ人数は下記のとおりとなった。

令和2年度から令和6年度の介護予防教室参加者数

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小倉げんき塾	245	323	590	652	693
脳トレ教室 たんぼぼ	145	142	196	193	294
小倉うたごえ サロン	57	201	315	376	387

クラブ活動（陶芸、書道、絵手紙クラブ）を開催し、延べ165人（令和5年度180人）が参加した。

また、地域の「高齢者サロン」「認知症の方と家族のつどいの場」「健康麻雀」も継続して開催し、利用拡大に繋がっている。

【利用料金収入の結果について】

該当なし

【自主事業に関する取組結果について】

該当なし

【情報発信の取組結果について】

各自治体、教育機関、福祉施設からの見学を随時受付、日本初の小学校の高齢者福祉施設への転用例を発信した。また、社会福祉法人宇治明星園の広報活動ともリンクし、宇治市小倉デイサービスセンター及び宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターと連携しながら、地域の福祉拠点並びに福祉相談窓口としての情報発信も行った。その他、小倉小学校、小倉双葉園保育所だけでなく、施設の機関紙やパンフレット（イベントや行事企画等）を地域や関係団体に配布して広報を行った。

【管理運営体制等について】

センター長 1名（宇治市小倉デイサービスセンター長兼任）
受付及び管理職員 15名（宇治市小倉デイサービスセンター職員兼任、宇治市小倉介護サービスセンター介護支援専門員兼任、北宇治地域包括支援センター職員兼任）
事務職員 1名（宇治市小倉デイサービスセンター事務職員兼務）
浴室清掃・営繕 2名（宇治市小倉デイサービスセンター運転手兼任）
その他、すべての小倉明星園スタッフでデイホーム利用者への対応を行った。

浴室清掃についても体制確保を予定していたが、浴室の一般開放は休止した。

【地域との連携、市民参画の結果について】

健康麻雀クラブ（月・水午後、第2・4火午後）、伊勢田元気会（第1水午前）、スリッパの会（第1、3、4土）、健笑会（第2、4金午後）、囲碁クラブ（毎日）、小倉青少年健全育成協議会茶道教室（第2、4土午前）、青淡会高齢者茶道クラブ（第1、3土・第4土午後）、りあん（第1、3火午後）、介護予防教室（小倉うたごえサロン（第3木）、小倉げんき塾（第2木）、脳トレ教室たんぽぽ（第4木））、クラブ活動（陶芸クラブ（第1火）、書道クラブ（第2火）、絵手紙クラブ（第4火））などに施設を開放。

その他、地域のボランティア団体や小倉明星園とともに地域の福祉をよくする会にも地域交流の場として施設を開放した。

【トラブル対応、防犯、防災対策について】

—対策状況—

トラブル対応として、デイホーム委員会が中心となりデイホーム利用者による館内の利用時間の遵守及びマナーについて検討を図り、館内ルールを遵守していただくよう声掛け（説明）や館内掲示を行った。

防犯については、業者委託による機械警備（夜間）と職員による館内防犯点検（目視による巡視）を行った。また、小倉小学校の敷地内であることから日中はスクールサポーター（配置時）が常時見守りを実施している。

防災対策については、年3回館内利用者・職員を含めた避難訓練を実施して防災意識を高めている。

【利用者要望の把握状況及び実施策について】

—把握状況及び実施策—

日常的に宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターの職員が利用者の要望等の対応にあたるとともに、デイホーム委員会が中心になり実態の把握を行った。また、これまでと同様に個別の相談（介護に関する悩み、利用者同士のトラブル）にも適切に対応した。その他、毎年年度末にアンケートを実施し、要望の把握に努めている。

【サービス向上取組内容について】

情報サービスとしては、宇治市の広報、施設の行事等のお知らせを館内の見やすい場所に掲示した。地域の健康増進を図る取組（介護予防教室）も継続して行い、延べ 1,374 名の参加があった。年末には全館大掃除をデイホームの利用者にも呼びかけを行い、職員と一緒に掃除を行った。

また、クラブ活動（陶芸・書道・健康麻雀・絵手紙）を開催し、地域住民のニーズに応えるべく取り組んだ。

【経費縮減・収支改善に関する具体的な方策と結果について】

エアコンを使用する際は、エコな温度設定で過ごしていただくようお知らせの掲示や声掛けを行った。また、館内の利用していない部屋については電気の消灯を徹底した。夏場の明るい時期は廊下の電気を消灯して省エネに努めた。

令和 2 年度から令和 6 年度の経費（光熱水費）実績

（単位：千円、％）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	前年度比
電気	264	271	278	230	271	117.8
ガス	665	738	1,074	874	917	104.9
水道	832	787	818	896	863	96.3
合計	1,761	1,796	2,170	2,000	2,051	102.6

【個人情報保護措置と実施状況について】

- ・当法人が定める「指定管理者個人情報保護規程」に基づき、個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じる。
- ・令和 6 年度において個人情報の開示請求はなかった。

【情報公開対応と実施状況について】

- ・当法人が定める「指定管理者情報公開規程」に基づき適切な措置を講じる。
- ・令和6年度における情報公開実施事例はなかった。

【その他】

- ・入浴のサービスは、併設のデイサービスセンターの施設利用者への感染拡大防止を第一に勘案し、年間を通じて休止した。
- ・感染症対策として、マスクの着用については、重症化リスクの高い人等に感染させない配慮は継続しながら、個人の判断に委ねることを基本とした。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されることを踏まえ、執務室や会議室等において、職員や市民に対しマスクの着用を求めている。
- ・併設の宇治市小倉デイサービスセンター、宇治市小倉介護サービスセンター及び北宇治地域包括支援センターにおける介護・福祉関係及び施設管理に関する研修に参加した。
- ・社会福祉法人宇治明星園の人権研修会、京都府やハローワークの人権啓発研修及び感染症研修など、外部の研修に参加して職員の管理能力を高めた。

(2) 施設利用状況報告 (令和6年度)

【施設利用状況】 1. 入館(場)者数

令和2年度から令和6年度の入館者数

(単位：人、%)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比
デイルーム	2,903	2,046	2,922	2,779	2,894	104.1
浴室	0	0	0	0	0	-
介護者教室	1,214	1,468	2,617	3,095	3,472	112.2
ボランティア ルーム	360	941	1,881	1,753	1,846	105.3
合計	4,477	4,455	7,420	7,627	8,212	107.7

※デイサービス施設利用者への感染防止等の観点から、浴室の一般開放は休止

【施設利用状況】 2. 貸館状況

令和2年度から令和6年度の貸館状況

(単位：件・人、%)

区分	件数 人数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比
		介護者教室	件数 109	161	218	197	218
	人数 1,214	1,468	2,617	3,095	3,472	112.2	
ボランティア ルーム	件数 77	172	259	243	242	99.6	
	人数 360	941	1,881	1,753	1,846	105.3	
合計	件数 186	333	477	440	460	104.5	
	人数 1,574	2,409	4,498	4,848	5,318	109.7	

(3) 管理経費収支報告 (令和6年度)

(単位：千円)

施設名		宇治市小倉デイホーム			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	4,606	4,941		
	利用料金収入				
	その他				
収入合計 (A)		4,606	4,941		
支出	人件費	1,765	2,011		
	事務費	63	124	消耗品費 124	
	管理費	2,778	2,806	光熱水費 2,051 委託料 407 修繕料 348	
	事業費		0		
	その他		0		
支出合計 (B)		4,606	4,941		
収支 (A) - (B)		0	0		

(4) - 1 事業実施状況報告 (令和6年度)

※事業＝公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数

